

FURUTECH

Review

Audio Accessory
2024 SPRING 192 - JAPAN



重点アクセサリ研究
音のグレードアップはここから始まる

新世代の “電源ボックス& タップ大全”

21モデル一斉比較
Text by 岡田洋世 Yoko Okada

&クオリティアップと使いこなし5つの有効プラン

Text by 編集部 中野 要

オーディオシステムの音質を大きく左右する、電源。その質を整え、良質な供給経路の構築に欠かせないのが、「電源タップ」と「電源ボックス」だ。機器を動作させる重要な部分だけに、メーカーによる改良や新しい技術開発もきめ細かく注がれているジャンルといえる。価格レンジが広く、素材や構成も多様で、独自の音質対策を備えるなどバリエーションに富む。そこで今回、進化したいまの「電源タップ」と「電源ボックス」の現状と動向を定点観測するべく一斉試験を実施。さらに、より優れた音の成果を引き出すための使いこなしとして、ボックスとタップ周りのクオリティアップの方法も探った。



Profile | 省スペースでも使用できるように、機能性を高めた同社初のスリムタイプ。金属部品にはα Process処理を施し、本体内の底部には特殊な振動吸収材で減振対策するなど、同社が培ってきた開発技術が凝縮されている。

ノイズフロアが非常に低く解像度が高い

シャーシ本体はアルミ合金、側蓋はポリカーボネート。コンセントはFPX (G)。内部配線はFURUTECH μ-14ワイヤ。本体内の底部に振動吸収材。コルトレーンはベースのボディがややスリムだが付帯音を引きずらず小気味良く歌う。ラッピアも電子音による低域の音像がスリムだが、部屋の空気はしっかり震わせる。ノイズフロアが非常に低く解像度が高いので、ラッピアの背景で鳴る各種電子音が明瞭に描き分けられる。クルレンツィスは急峻な抑揚表現が実に精緻。弦の有機的な質感が印象的。

使いこなしアドバイス

軽快で小回りが利く表現と、生理的に心地良い質感が魅力。軽量で底面に脚はないので、設置面には滑りにくい素材を配するとよい。

SPEC | ●コンセント差込口数: 6個、FPX (G) × 3
●電源インレット: FI-06 (G) ●本体材質: アルミ合金 ●側蓋材質: ポリカーボネート ●サイズ: 41.6W × 45.5H × 65.5D mm ●質量: 約0.84kg ●取り扱い: フルテック(株)